

蘇る野生の血脈



写真：J018 の剥製（兵庫県立コウノトリの郷公園所蔵）

たけふ 武生展

8 / 5^土 ~ 8 / 31^木
豊岡市立コウノトリ文化館

主催：兵庫県立コウノトリの郷公園
共催：福井県、豊岡市、豊岡市立コウノトリ文化館

野生コウノトリが減少の一途をたどっていた1970年、福井県武生市に飛来した1羽のコウノトリがいました。この「武生（たけふ）」は野生の血を引くことから繁殖に大きな期待が寄せられました。ペアリングはなかなか思うようにはいきませんでした。しかし長年の努力が実を結び、1994年に1羽のメスのコウノトリ「紫（むらさき）」が誕生、今年福井県で飼育するTペアに、その卵を托卵し、2羽のヒナが生育しています。このたびは現代へも脈々とつながる武生の血統に着目し、パネル展を行います。

